

NEC プロジェクター

ViewLight[®]

ビューライト

NP-P502HJD/NP-P502WJD

APPSメニュー説明書

目次

1. APPS メニューでできること	2
2. ビューワ	6
3. リモートデスクトップ接続	10
4. MultiPresenter	16
5. Miracast	17
6. WEB サーバ機能	18
6-1. WEB シェアリング	19
6-2. MultiPresenter	23
6-3. PROJECTOR CONTROL	26
7. ネットワーク設定	27
7-1. プロジェクター名	27
7-2. ネットワーク情報	27
7-3. 有線 LAN	27
7-4. 無線 LAN	28
7-5. MultiPresenter	35
7-6. ネットワークサービス	36
8. ツール	38
8-1. マウス設定	38
8-2. プログラムタイマー	38
8-3. 日付と時刻	41
8-4. 管理者モード	42
8-5. デフォルト APP	42



注意

- 本書の説明は、プロジェクター本体のファームウェア 2 のバージョン「1.03」以降に対応しています。ファームウェア 2 のバージョンは、オンスクリーンメニューの「情報」→「VERSION(2)」の「FIRMWARE2」に表示されます。

1. APPS メニューでできること

APPS メニューでは、本機の拡張機能や各種設定を選択することができます。APPS メニューを表示するには、リモコンの (APPS) ボタンを押すか、オンスクリーンメニューの入力端子で「APPS」を選択します。

参考

- APPS メニューの各アプリケーション使用中は、オンスクリーンメニューを表示していない状態で、リモコンの (APPS) ボタンを押すことにより、アプリケーションを中断し APPS メニューに戻ります。

【APPS メニュー画面】

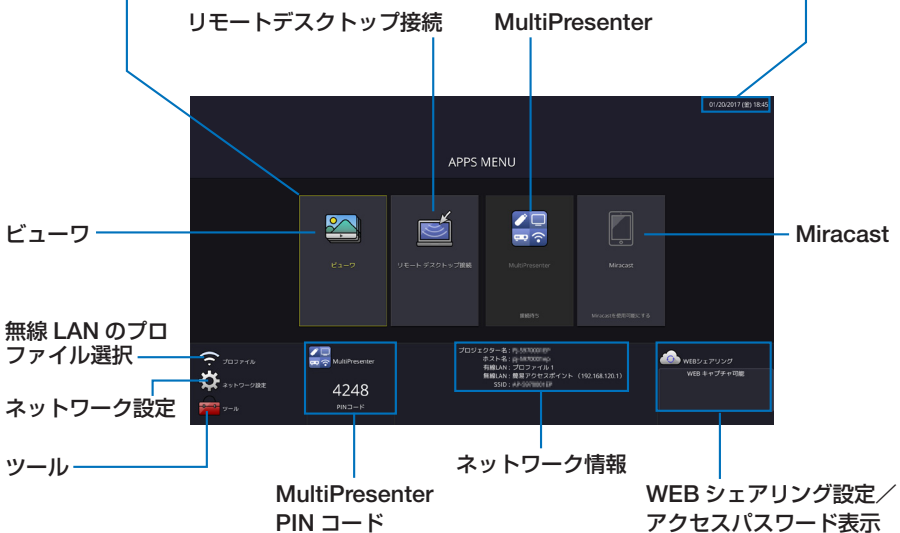
フォーカス

選択されている項目を表します。
黄色い緑どりで表示されます。

現在の日付と時刻

重要

APPS メニューの機能を使用する前に、日付と時刻を設定してください。(41 ページ)



注意

- 本機がネットワークに接続していないとき、「リモートデスクトップ接続」、「MultiPresenter」、「Miracast」、「WEB シェアリング」は選択できません。

ビューワ

保存している画像や動画を選択して本機から投写します。次の3つを使用できます。

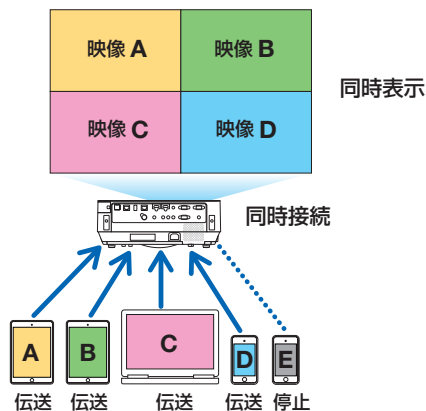
- (1) プロジェクターメモリ… WEB シェアリングで本機の内蔵メモリに一時保存した画像や動画。
- (2) USB メモリ …………… 本機に接続している USB メモリ内の画像や動画。
- (3) 共有フォルダ…………… 本機が接続しているネットワーク上の共有フォルダ内の画像や動画。

リモートデスクトップ接続

プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。市販の USB キーボードを本機に接続することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7 のコンピュータを操作できます。

MultiPresenter

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、OS X、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。
- 複数（最大 50 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4×4 分割）して一度に投写することができます。



- コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。または、MultiPresenter を当社のホームページからダウンロードして、コンピュータやスマートフォンへインストールしてください。

<http://www.nec-display.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>

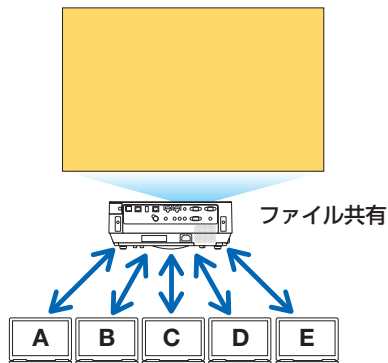
Miracast

Android 端末などの Miracast 規格に対応したデータ送信端末と本機をワイヤレスで接続し、端末から送信される画像を本機で投写することができます。
接続する前に本機のネットワーク設定で「Miracast」を設定してください。

WEB サーバ機能

● WEB シェアリング

専用のファイル共有ソフトウェアを使用することなく、プロジェクター（本機）とネットワークで接続しているコンピュータ同士で、ウェブブラウザを使用して本機の WEB サーバにアクセスすることによって、画面やファイルを共有することができます。



● MultiPresenter

Image Express Utility Lite や MultiPresenter アプリケーションを使ってプロジェクター（本機）に同時表示した複数の端末の画面について、コンピュータのウェブブラウザから画面の分割数や表示位置などを変更することができます。

● プロジェクターコントロール

コンピュータのウェブブラウザ画面からプロジェクター（本機）を制御することができます。

● WEB サーバへのアクセス方法

プロジェクター（本機）とコンピュータをネットワークで接続し、コンピュータのウェブブラウザで次の URL にアクセスしてください。

URL: <http://> (プロジェクター (本機) の IP アドレス)

ネットワーク設定

本機を有線 LAN、無線 LAN に接続するための以下の設定を行います。

● プロジェクター名

本機のプロジェクター名とホスト名を設定します。工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。

● ネットワーク情報

本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続したときの情報を表示します。

●有線 LAN

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

●無線 LAN

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。

また、簡易アクセスポイント、Wi-Fi Direct、Miracast の設定を行います。

●MultiPresenter

MultiPresenter の動作モード（フリー、管理）を設定します。

●ネットワークサービス

AMX、HTTP サーバ、PJLink、アラートメール、CRESTRON のための設定を行います。

ツール

以下のマウス設定、プログラムタイマー、日付と時刻設定、管理者モード、デフォルト APP が行えます。

●マウス設定

市販の USB マウスを本機に接続すると、マウスを使用して APPS メニューの操作ができます。

このときのマウスの設定です。

●プログラムタイマー

曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。

●日付と時刻設定

本機に現在の日付と時刻を設定します。

●管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

●デフォルト APP

プロジェクターの電源を入れたときに「APPS」端子が選択されていると、デフォルト APP で設定した機能が自動的に起動します。

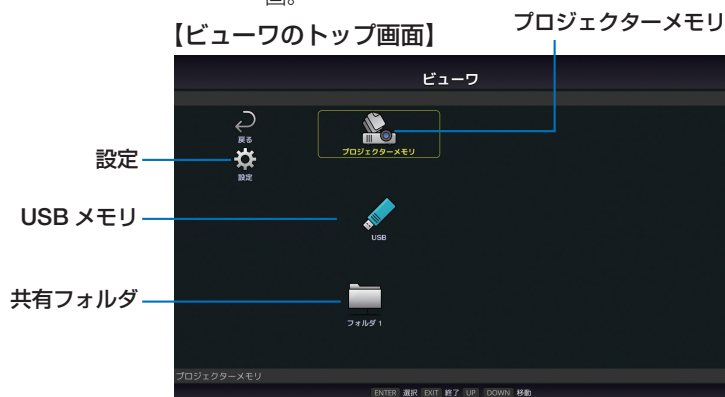
また、「APPS」端子以外が選択されていると、「APPS」端子に切り替えたときにデフォルト APP で選択した機能が自動的に起動します。

2. ビューワ

ビューワでできること

保存している画像や動画を選択して本機から投写します。次の3つを使用できます。

- (1) プロジェクターメモリ… WEB シェアリングで本機の内蔵メモリに一時保存した画像や動画。
- (2) USB メモリ …………… 本機に接続している USB メモリ内の画像や動画。
- (3) 共有フォルダ…………… 本機が接続しているネットワーク上の共有フォルダ内の画像や動画。



- 「設定」を選択すると、スライドショー、動画、共有フォルダなどの設定を変更することができます。(▶9 ページ)
- 「設定」で「自動再生」を「静止画」または「動画」に設定しているとき、次の操作で自動再生が実行されます。
 - ・ ビューワのトップ画面で USB メモリを本機に接続したとき。
 - ・ 本機に USB メモリが接続されている状態で、電源を入れたあと、はじめてビューワ画面を表示したとき。

このとき、自動的に USB メモリ内のルートディレクトリと次の階層のフォルダ内を検索し、見つかった画像または動画を順番に表示します。画像や動画の表示順は、ファイル表示画面で「並び順」を行った順になります。

注意

- ビューワで認識できる USB メモリは 1 つのみです。本機の無線 LAN 用の USB ポートに USB メモリを接続しないでください。
- 共有フォルダは 1 ～ 4 つまで設定できます。
- 共有フォルダへの接続が失敗すると、エラーメッセージを表示して、フォルダアイコンに「×」印を表示します。その場合は次の確認を行ってください。
 - ・ LAN ケーブルが正しく接続されているか
 - ・ 接続先のフォルダ名は正しいか
 - ・ 接続先のフォルダが共有設定されているか
 - ・ 接続先のフォルダにアクセス権が設定されているか
 - ・ 接続先のフォルダに表示可能なファイルが保存されているか
 - ・ プロジェクターの日時設定が正しく行われているか

表示／再生可能なファイル

● 静止画

・対応フォーマット

拡張子	対応
*.gif	インターレース、透過、アニメーション
.jpg/ .jpe/* .jpeg	ベースライン、プログレッシブ、RGB、CMYK
*.png	インターレース、 α チャンネル
*.bmp	

※ ビューワでは、MS-Office ファイルや PDF は表示できません。

・対応画像解像度

フォーマット	解像度
JPEG	5000×5000 ピクセルまで
Gif	1280×1280 まで／ファイルサイズが 5 メガバイトまで
その他の画像 (.png、.bmp)	4000×4000 ピクセルまで

● 動画

・対応フォーマット

拡張子	動画コーデック	音声コーデック
.mpg/ .mpeg	MPEG2	MPEG Audio Layer2 MPEG Audio Layer3 (略称 MP2/MP3)
*.wmv	WMV9	WMA 9 Standard (略称 WMA9)
*.mp4	H.264/AVC	AAC-LC (略称 AAC)

・詳細情報

項目	条件
解像度	320×240 ～ 1920×1080 まで
動画フレームレート	30FPS まで
動画ビットレート	30Mbps まで
音声チャンネル	2ch ステレオまで
音声サンプルレート	48KHz まで
音声ビットレート	MP2/MP3 448kbps まで WMA9 384Kbps まで ACC 256Kbps まで
ファイルの最大サイズ	2 ギガバイトまで
サポート外のコーデック	WMA Professional 形式の音声データが含まれた WMV ファイルは再生できません。

注意

- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。
- ネットワーク環境または USB メモリの種類、ファイルのビットレートによっては正常に動画が再生されないことがあります。
- デジタル著作権管理 (Digital Right Management, DRM) 付きのファイルは再生できません。
- 動画ファイルに設定されたアスペクト比は反映されません。動画のピクセルアスペクト比は 1:1 になります。

●対応 USB メモリ

本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリを認識できません。本機にセットした USB メモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。ビューワで使用する USB メモリは、FAT32 形式または FAT16 形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

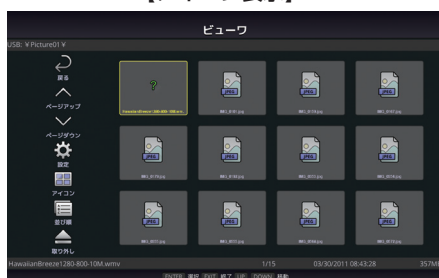
注意

- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。

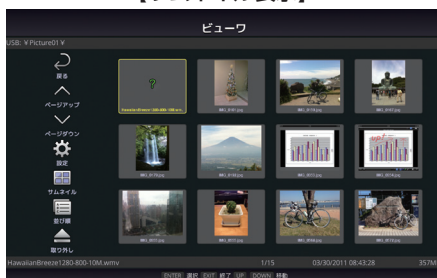
ファイル表示画面

- 1 画面には、フォルダアイコンを含め、12 個（横 4× 縦 3）のファイルを表示できます。画面左の「ページアップ」および「ページダウン」でファイルの一覧を切り換えます。
- ビューワのファイル表示形式には、アイコン表示とサムネイル表示があります。

【アイコン表示】



【サムネイル表示】



	戻る	1 つ上の階層に戻ります。
	ページアップ	前のファイルの一覧を表示します。
	ページダウン	次のファイルの一覧を表示します。
	設定	設定画面を表示します。
	サムネイル/アイコン	サムネイル表示とアイコン表示を切り換えます。
	並び順	名前（ファイル名）、種類（拡張子）、日付（作成日時）、サイズ（ファイル容量）の順にファイルの表示順を切り換えます。初期値は「名前」順です。
	全削除	プロジェクターメモリのファイルの一覧を表示しているときにのみ、メモリ内のファイルの「全消去」を行うことができます。「全削除」を実行すると、消去したファイルはもとに戻せませんので注意してください。
	取り出し	USB メモリのファイル一覧を表示しているときに、USB メモリの「取り外し」を行います。

注意

- 1 つのフォルダ内は、フォルダアイコンを含め、最大 300 個まで表示できます。
- ファイル名の先頭に「.」が付いているファイル名は表示されません。
- 種類が判別できないファイルのアイコンは「？」と表示されます。
- 時間が短い動画ファイルのサムネイルは黒く表示される場合があります。

スライドショー表示

- ファイル表示画面（アイコン表示またはサムネイル表示）で静止画にフォーカスを合わせ（決定）ボタンを押すと、スライド画面に切り替わります。
- スライドショー表示には、リモコンのボタン操作で画像を切り換える「手動再生」と、設定した時間の間隔で自動的に画像を切り換える「自動再生」（再生モードが「自動」）が行えます。
- 本機の工場出荷時は「手動再生」が設定されています。「自動再生」を行う場合は、「設定」で「再生モード」を「自動」に設定してください。（このページ）
- 画像の表示順は、ファイル表示画面で「並び順」を行った順になります。
- 解像度の高い画像をスライド画面で表示している場合に、ファイル表示画面に戻ることがあります。

動画の再生

ファイル表示画面（アイコン表示またはサムネイル表示）で動画ファイルにフォーカスを合わせ（決定）ボタンを押すと、動画の再生を開始します。

ビューワ設定

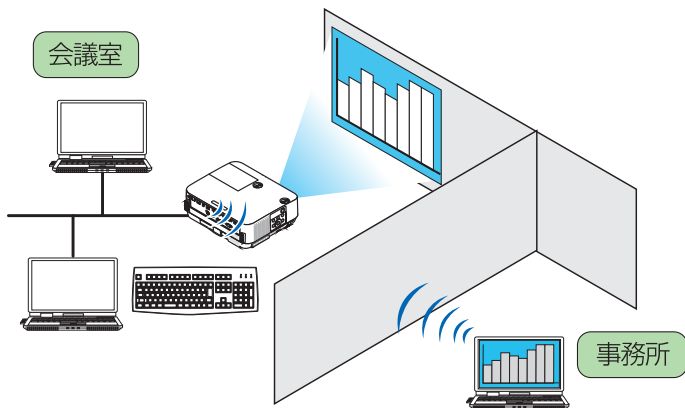
ビューワのトップ画面やファイル一覧画面の  アイコンを選択すると、ビューワの設定画面を表示します。

設定画面では次の設定ができます。

項目 1	項目 2	選択肢（[] は初期値）	備考
スライドショー	スクリーンサイズ	[最大サイズ] / 実サイズ	
	再生モード	自動 / [手動]	
	間隔	[5] ~ 300 秒	「自動」選択時に有効
	繰り返し	[無効] / 有効（初期値はチェックなし）	
動画設定	スクリーンサイズ	[最大サイズ] / 実サイズ	
	繰り返し	[オフ] / 1つのファイル / 全てのファイル	
自動再生	自動再生	[オフ] / 静止画 / 動画	USBメモリを接続したときのみ有効
共有フォルダ	フォルダ 1 / フォルダ 2 / フォルダ 3 / フォルダ 4	[無効] / 有効（初期値はチェックなし）	
		共有フォルダ [¥¥]	41 文字まで
		ユーザー名	64 文字まで
		パスワード	64 文字まで

3. リモートデスクトップ接続

- プロジェクター（本機）と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。そして、市販のキーボードを操作することにより、ネットワークに接続している Windows 8 や Windows 7 のコンピュータを操作します。
- リモートデスクトップ機能により、プロジェクター（本機）から離れたところに設置してあるコンピュータを遠隔操作できます。



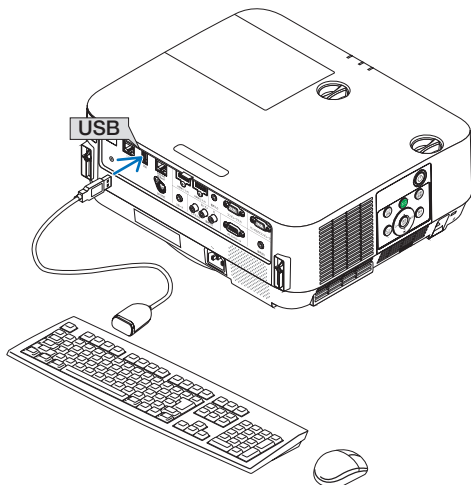
重要

- この機能を使用できる Windows の種類は次のとおりです。
 - ・ Windows 8 Pro
 - ・ Windows 8 Enterprise
 - ・ Windows 7 Professional
 - ・ Windows 7 Ultimate
 - ・ Windows 7 Enterprise
- 本書では Windows 7 を例にしてこの機能を説明しています。
- リモートデスクトップ接続を行う際は、USB キーボードをプロジェクター本体に接続する必要があります。
- リモートデスクトップ接続は、USB キーボードだけでも操作できますが、さらに USB マウスを使用すると操作性が向上します。USB キーボードおよび USB マウスは、コンピュータ用として市販されている製品をお使いください。
- キーボードとマウスを同時に使用したい場合は、USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのコンピュータ用として市販されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをお使いください。ただし、本機の USB ポートは、市販されているすべてのキーボードおよびマウスの動作を保証するものではありません。
- USB ハブを内蔵している USB キーボードは使用できません。また、Bluetooth 接続のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは使用できません。
- リモートデスクトップ接続のログイン画面では、英字配列キーボード（通称 101 キーボード）を使用してください。日本語キーボード（JIS 配列キーボードなど）を使用した場合、キーに印刷された文字と異なる文字が入力されることがあります。

●ワイヤレスキーボードを準備する

※ 次のイラストは、市販の USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの例です。製品によって形状や仕様が異なります。

- 1 USB ワイヤレスレシーバーの USB 端子を本機の USB ポートに差し込む。



- 2 リモコンの (APPS) ボタンを押して、APPS メニューを表示する。

- 3 「ツール」 にフォーカスを合わせ、 (決定) ボタンを押す。

- 4 「マウス設定」 にフォーカスを合わせ、 (決定) ボタンを押す。

- 5 「マウス」 にフォーカスを合わせ、 (決定) ボタンを押す。

チェックマークが付きます。

- 6 「戻る」 にフォーカスを合わせ、 (決定) ボタンを押す。

- 7 リモコンの (スタンバイ) ボタンを 2 回押す。

プロジェクターの電源が切れます。

- 8 リモコンの (入) ボタンを押す。

プロジェクターの電源が入り、プロジェクターに接続している USB マウスが使用できる状態になります。

● Windows 7 のユーザーアカウントにパスワードを設定する

※ すでにユーザーアカウントにパスワードが設定されている場合は、以下の手順

8 までの操作は省略できます。

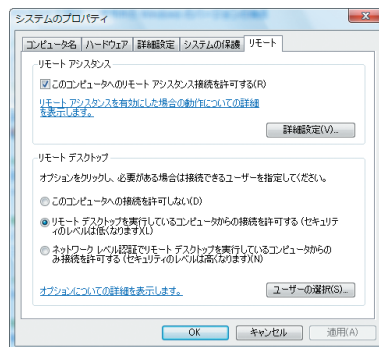
- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。

- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] の下に表示されている [ユーザーアカウントの追加または削除] をクリックする。
- 4 [Administrator] をクリックする。
- 5 [アカウントのパスワードの作成] をクリックする。
- 6 [新しいパスワード] 欄にパスワードを入力する。
- 7 [新しいパスワードの確認] 欄に手順6と同じパスワードを入力する。
- 8 [パスワードの作成] をクリックする。
Administrator が「パスワード保護」に変わりました。

● リモートアクセスの許可を設定する

- 1 Windows 7のデスクトップ画面で[スタート]ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [システムとセキュリティ] をクリックする。
- 4 [システム] の下に表示されている [リモートアクセスの許可] をクリックする。
- 5 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[続行 (C)] をクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

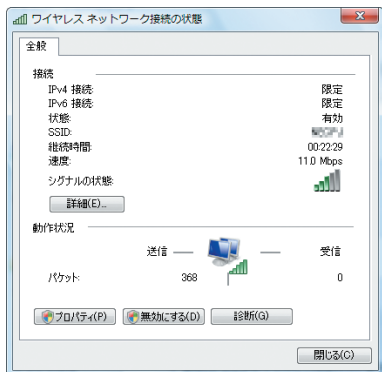
- 6 リモートデスクトップ欄の [リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する (セキュリティのレベルは低くなります) (L)] をクリックし、[OK] をクリックする。



● Windows 7 側の IP アドレスを確認する

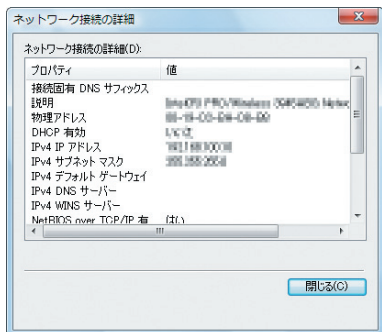
- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で[スタート]ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ネットワークとインターネット] の下に表示されている [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックする。
- 4 無線 LAN で接続している場合は、画面の [ワイヤレスネットワーク接続 (xxxxxxx)] の右に青色で表示されている [状態の表示] をクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されます。



5 [詳細 (E)] をクリックする。

表示された「IPv4 IP アドレス」の値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をメモします。



6 [閉じる (C)] をクリックする。

7 ウィンドウの右上の [X] をクリックする。

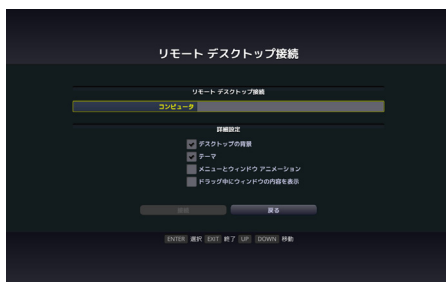
デスクトップ画面に戻ります。

● リモートデスクトップ接続を開始する

- 1 本機の電源が入っている状態でリモコンの (APPS) ボタンを押す。
APPS メニュー画面が表示されます。



- 2 APPS メニューから「リモートデスクトップ接続」を選択する。
「リモートデスクトップ接続」画面が表示されます。



- 3 キーボード、マウス、リモコンのいずれかひとつを操作して、Windows 7 側の IP アドレスを入力し、[接続] をクリックする。
本機で投写した画面に Windows 7 のログオン画面が表示されます。

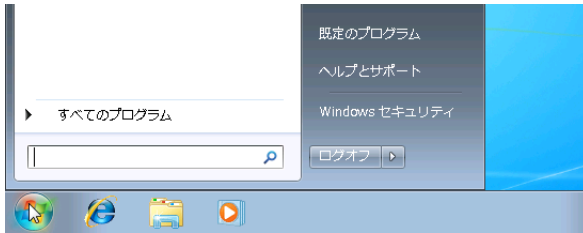
- 4 キーボードを操作して、ユーザーのパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。
リモートデスクトップ接続が開始され、本機で投写した画面に Windows 7 のデスクトップが表示されます。
コンピュータはログアウトします。キーボードを使って、Windows 7 を操作します。

注意

- 正常に接続できず黒い画面が表示され続ける場合や、予期せぬ切断等によりリモートデスクトップ画面の操作を行えなくなった場合は、リモコンの (APPS) ボタンを押して APPS メニューを表示し、リモートデスクトップ接続を選択して「切断」ボタンを実行後、再度接続を行ってください。

● リモートデスクトップ接続を終了する

- 1 キーボードまたはマウスを操作して、本機から投写されているデスクトップ画面の [スタート] ボタンをクリックする。



- 2 スタートメニューの右側にある [ログオフ] をクリックする。
リモートデスクトップ接続が終了します。

- 3 リモコンの (APPS) 以外の入力端子のボタンを押します。

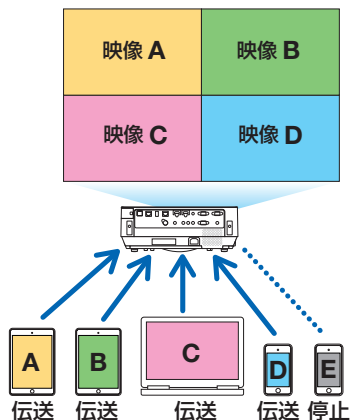
参考

- リモートデスクトップ接続の [詳細設定] について
リモートデスクトップ接続の [詳細設定] は、リモートデスクトップ画面の操作中において、デスクトップの背景を表示したり、ウィンドウアニメーションなどを有効にすることができます。

設定項目	チェックを外しているときの動作
デスクトップの背景	デスクトップの背景を単色で表示します。
テーマ	テーマを使用しません。
メニューとウィンドウアニメーション	メニューとウィンドウのアニメーション効果を無効にします。
ドラッグ中にウィンドウの内容を表示	ウィンドウをドラッグするときに、ウィンドウの枠だけを表示します。

4. MultiPresenter

- プロジェクター（本機）とコンピュータ、スマートフォン、およびタブレット端末をネットワークで接続すると、各端末の画面をプロジェクターへ送信し、投写することができます。
- 複数の OS（Windows、OS X、Android、iOS）の端末を同時に接続することができます。
- 複数（最大 50 台）の端末から送信された画面を、プロジェクター側の画面を分割（最大 4×4 分割）して一度に投写することができます。
- MultiPresenter の動作モードには、フリーモードと管理モードがあります。モード選択は、ネットワーク設定の「MultiPresenter」で行います。（🔗 35 ページ）
 - ・ フリーモードは、コンピュータにインストールした Image Express Utility Lite、およびコンピュータやスマートフォンなどにインストールした MultiPresenter アプリケーションから自由に接続できるモードです。画面の分割パターンは、接続している端末の台数に応じて変わります。また、端末側から分割表示と全画面表示を選択することができます。
 - ・ 管理モードは、フリーモードと同様に複数台の端末を接続中に、分割表示から全画面表示に切り替えたりもとに戻す操作を“リモコン”か“WEB サーバ”を使用して行うことができます。
 - リモコン …… 端末を接続し画面を投写中に（決定）ボタンを押すと、画面分割パターンを選択するメニューを表示します。
 - WEB サーバ… 画面分割や並び替えなどをより細かく設定することができます。（🔗 24 ページ）



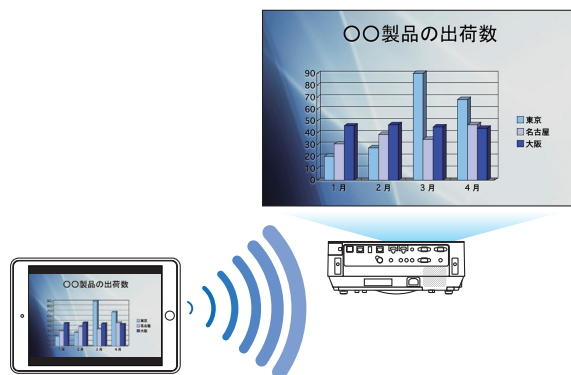
- コンピュータには、添付の CD-ROM に収録しているアプリケーションソフト Image Express Utility Lite をインストールしてください。ソフトウェアについての詳しい説明はヘルプファイルをご覧ください。
または、MultiPresenter を当社のホームページからダウンロードして、コンピュータやスマートフォンへインストールしてください。
<http://www.nec-display.com/dl/jp/soft/multipresenter/index.html>
- 当社のアプリケーションソフト Image Express Utility 2.0 も使用できます。当社のホームページからダウンロードしてコンピュータにインストールしてください。ただし、Image Express Utility 2.0 は、同時接続および同時表示はできません。

5. Miracast

Android 端末などの Miracast 規格に対応した無線端末と本機をワイヤレスで接続し、無線端末の画像を本機でミラーリング投写することができます。

接続する前に本機のネットワーク設定で「Miracast」を設定してください。

[\(30 ページ\)](#)

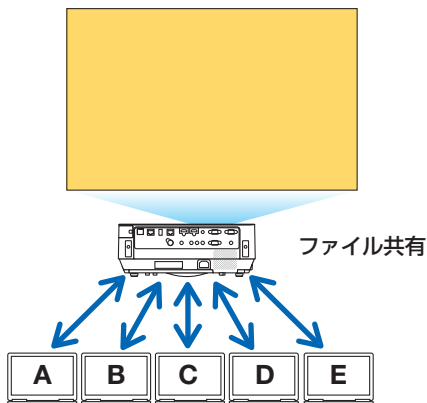


注意

- 使用している Miracast 対応無線端末や電波環境によっては、映像や音声途切れたりすることがあります。
- Miracast の接続手順は Miracast 対応無線端末によって異なります。詳しくは Miracast 対応無線端末の取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- 本機の Miracast 機能は、市販されているすべての Miracast 対応無線端末との接続を保証するものではありません。

6. WEB サーバ機能

- 専用のファイル共有ソフトウェアを使用することなく、プロジェクター（本機）とネットワークで接続しているコンピュータ同士で、ウェブブラウザを使用して本機のウェブサーバにアクセスすることによって、画面やファイルを共有することができます（WEB シェアリング [▶ 次ページ](#)）。
- MultiPresenter で複数の端末の画面をプロジェクターで同時に表示中に、コンピュータのウェブブラウザを使用して、画面の分割数を変えたり、表示順を変更したりすることができます（MultiPresenter [▶ 23 ページ](#)）。
- コンピュータのウェブブラウザ画面からプロジェクター（本機）を制御することができます（PROJECTOR CONTROL [▶ 26 ページ](#)）。



- WEB サーバ機能は、次のウェブブラウザに対応しています。

Windows 用	・ Internet Explorer 11 ・ Chrome 最新版
OS X 用	・ Safari 6 以降
iOS 用	・ Safari 最新版
Android 用	・ Chrome 最新版

※スマートフォン、タブレットを使用の場合、コンピュータに比べ一部機能に制限があります。

※PROJECTOR CONTROL は、コンピュータでのみ使用できます。

● WEB サーバへのアクセス方法

コンピュータとプロジェクター（本機）をネットワークで接続します。
コンピュータでウェブブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。

URL = http://（プロジェクターの IP アドレス）

- プロジェクターの IP アドレスは、APPS メニューの右下に表示されています。
- プロジェクターの無線 LAN が「簡易アクセスポイント」モードで動作しているときは、ウェブブラウザの URL 入力欄に任意の文字列を入力することでも WEB サーバにアクセスすることができます。この場合プロジェクターの IP アドレスを入力する必要がありません。ただし、WEB サーバへのアクセスに失敗する場合は、プロジェクターの IP アドレスを入力してください。

6-1.WEB シェアリング

● WEB シェアリングの設定をする

- 1 本機とコンピュータをネットワークで接続する。
- 2 プロジェクターの APPS メニューを表示する。

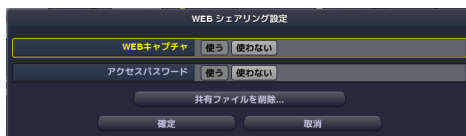


- 3 APPS メニュー内の「WEB シェアリング」の下に枠をフォーカス移動する。



- 4 リモコンの(決定) ボタンを押す。

WEB シェアリングの設定画面を表示します。



項目	説明	備考
WEB キャプチャ	プロジェクターに表示されている画面のキャプチャ画像の自動配信を可能にするか、禁止するかを設定します。「使う」にするとプロジェクターの画面を約 5 秒おきにブラウザの画面に表示します。	工場出荷時は「使わない」が設定されています。
アクセスパスワード	WEB シェアリング画面にアクセスする際のログインパスワードを表示するか、しないかを設定します。	工場出荷時は「使わない」が設定されています。
共有ファイルを削除	共有ファイルを削除します。	

- 5 設定を行ったら、「確定」にフォーカスを移動し、(決定) ボタンを押す。

WEB キャプチャを「使う」、アクセスパスワードを「使う」に設定した場合は次の画面が表示されます。

アクセスパスワードは、再設定されるか、プロジェクターの電源オフ/オンを行うたびに異なる数字に変わります。



● WEB シェアリングを開始する

1 コンピュータでウェブブラウザを起動し、WEB サーバにアクセスする。

・前ページの「WEB サーバへのアクセス方法」をご覧ください。

2 APPS メニューに表示されている 4 桁の数字を入力し、「Login」をクリックする。

・手順 5 でアクセスパスワードを「使わない」にしているときは、WEB シェアリング画面が表示されます。

WEB シェアリング画面が表示されます。



・「PROJECTOR CONTROL」タブをクリックすると、PROJECTOR CONTROL のページに切り替わります。また、「MultiPresenter」タブをクリックすると、MultiPresenter のページに切り替わります。

● WEB シェアリング画面の操作

● プロジェクターで投写中の APPS メニューの機能（ビューワ、リモートデスクトップ接続、MultiPresenter など）の画面を約 5 秒おきにウェブブラウザの画面に表示し、必要な画面をコンピュータに保存できます（WEB キャプチャ）。

※ 次の状態のとき、5 秒おきの更新は行われません。

・ビューワの動画再生画面

・APPS メニューで Miracast を選択しているとき

● 現在投写中の画面に文書を追加して 10 ページまでメモを作成することができます。作成したメモは画像としてコンピュータに保存することができます。

● コンピュータ内のファイルをプロジェクターにアップロードし、プロジェクターにネットワークで接続しているコンピュータ同士で共有できます。

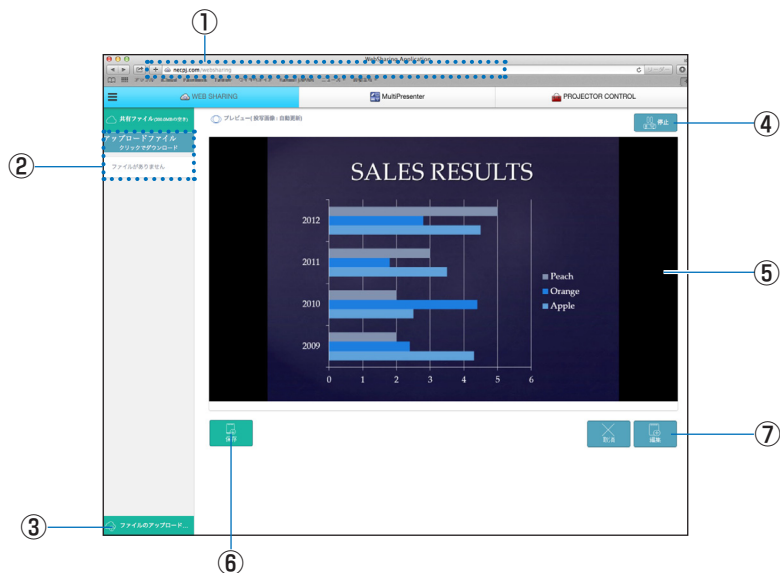


● Safari を使用していると、リロードのタイミングによっては画面表示が正常に行えないことがあります。Safari を再起動して試してください。

● HTML 形式での会議保存機能 (22 ページのメモ作成画面の③) は、iOS デバイス、OS X デバイスでは使用できません。1 ページごとに保存してください。

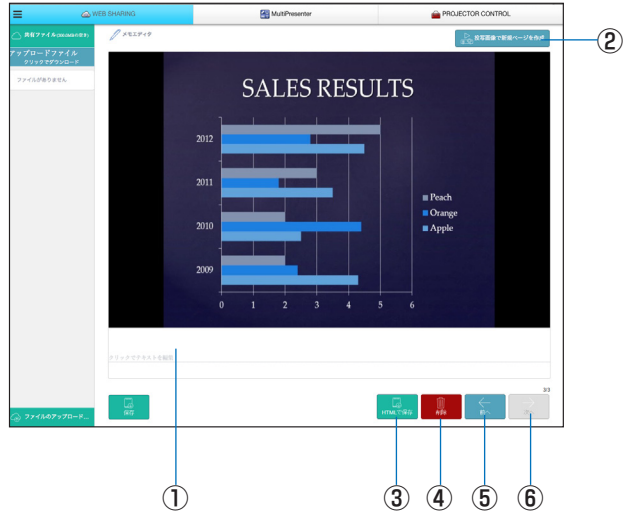
● お使いのブラウザが Internet Explorer の場合、WEB キャプチャ中での右クリックでの保存が正常に行えないことがあります。次ページ④のフリーズボタンを押して、5 秒おきの更新を止めてからの保存をおすすめします。

● 1 台のプロジェクターに最大 50 台までの端末を同時に接続できます。ただし、使用するプロジェクターやネットワーク機器の性能によって同時接続できる台数が変わります。



番号	説明
①	http:// (プロジェクターの IP アドレス)
②	プロジェクターメモリに保存されているファイル名を表示します。 ファイル名をクリックするとコンピュータにダウンロードできます。 (注) タブレット端末等でダウンロードしたファイルを使用する場合、別途アプリが必要になることがあります。
③	使用中のコンピュータから共有するファイルを呼び出しプロジェクターにアップロードします。 呼び出したファイル名は、上の「Uploaded Files」に表示されます。 アップロードした動画や画像は、ビューワ機能で再生することができます。 (▶ 6 ページ)
④	5 秒おきの更新を止めます。 もう一度クリックすると更新を再開します。
⑤	プロジェクターで投写している APPS メニューの機能 (ビューワ、リモートデスクトップ接続、MultiPresenter など) の画面を約 5 秒おきに表示します。
⑥	⑤に表示されている画像をコンピュータに保存します。 (注) iOS デバイス、OS X デバイスでは表示されません。
⑦	現在中央に表示されている画面を使用し、メモを作成します。

●メモ作成画面



番号	説明
①	クリックして文章を入力します。入力し終わったら、右側の「OK」をクリックして決定します。
②	新しいページを作成します。
③	すべてのページをまとめて 1 ファイルにして保存します。 (注) iOS デバイス、OS X デバイスでは表示されません。
④	編集中のページまたはすべてのページを削除します。
⑤	前のページに戻ります。
⑥	次のページを表示します。

6-2. MultiPresenter

● MultiPresenter 設定を「管理」モードにする

1 APPS メニューの「ネットワーク設定」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。

2 「MultiPresenter」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。
MultiPresenter 設定画面が表示されます。

3 「モード」欄にフォーカスを合わせ「管理」を選択する。

4 「確定」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。



- 「HTTP パスワード」を設定すると、ウェブブラウザで MultiPresenter のページに切り替える際にパスワード入力ウィンドウを表示します。

● コンピュータやタブレットなど複数の端末の画面をプロジェクターで同時に表示する

- Image Express Utility Lite は、添付の CD-ROM に収録しています。また当社のホームページからもダウンロードできます。
Image Express Utility Lite のインストールや操作方法は、プロジェクター本体の取扱説明書や各ソフトのヘルプをご覧ください。
または、MultiPresenter を当社のホームページからダウンロードして、コンピュータやスマートフォンへインストールしてください。

● MultiPresenter を開始する

1 コンピュータとプロジェクターをネットワークで接続する。

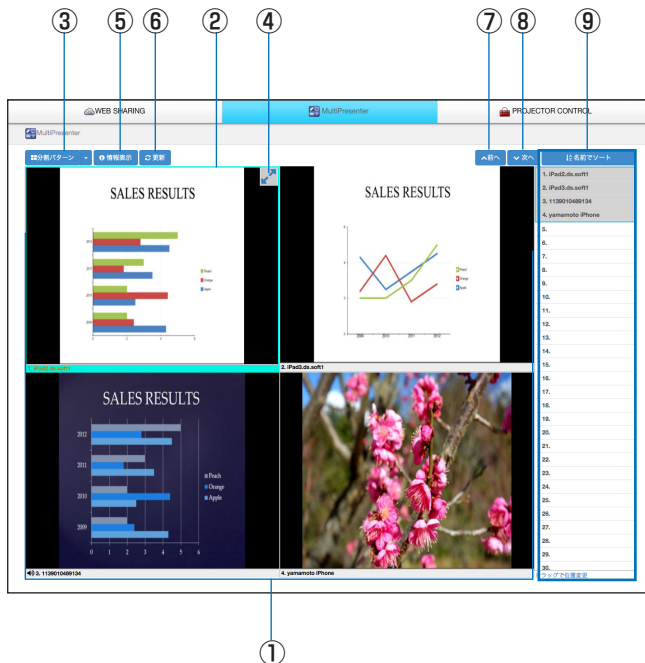
2 コンピュータでウェブブラウザを起動し、WEB サーバにアクセスする。
・18 ページの「WEB サーバへのアクセス方法」をご覧ください。

3 「MultiPresenter」タブをクリックする。

MultiPresenter のページに切り替わります。

- APPS メニュー→ネットワーク設定→MultiPresenter 設定画面で「HTTP パスワード」を設定している場合は、パスワードを入力してください。認証後、MultiPresenter の画面が表示されます。

● MultiPresenter 画面の操作



番号 / 名称	説明
①サムネイル画像	<ul style="list-style-type: none"> ● Image Express Utility Lite や MultiPresenter アプリケーションからプロジェクター（本機）へ送信している画面のサムネイル画像です。 ● ユーザーがいない画面や、APPS メニューで「MultiPresenter」が選択されていないとき、黒く表示されます。 ● サムネイル画像を他のサムネイル画像にドラッグ・アンド・ドロップすることで、表示位置を入れ替えることができます。
②フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは、水色の枠で表示されます。
③画面分割数の切り替え	<ul style="list-style-type: none"> ● 「分割パターン」ボタンをクリックすると、分割数を変更することができます。会議の用途にあわせ、2x1、2x2、3x3、4x4、1+12のパターンから選択することができます。
④画面の最大化	<ul style="list-style-type: none"> ● クリックするとフォーカスのある画像が最大化します。もう一度クリックするともとに戻ります。
⑤投写画面における端末名の表示 / 非表示の切り替え	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクターの画面に端末情報を表示する / 非表示を切り替えることができます。
⑥サムネイル画像の更新	<ul style="list-style-type: none"> ● 「更新」ボタンをクリックすると、サムネイル画像を最新の状態に更新します。
⑦⑧ページ切り替え	<ul style="list-style-type: none"> ● 「前へ」ボタン、「次へ」ボタンで、表示するページを、前のページ / 次のページに切り替えることができます。

次ページへ続く

⑨端末リスト	<ul style="list-style-type: none">● プロジェクターに Image Express Utility Lite や MultiPresenter アプリケーションを使って接続している端末名の一覧です。● 画面に表示されているページはグレーで表示されます。● 端末名をサムネイル画像にドラッグ・アンド・ドロップすると、表示位置を入れ替えることができます。● 「名前でソート」ボタンをクリックすると端末名を名前順にソートできます。
--------	--

注意

- 本機能を使用するには、コンピュータやタブレットの画面が プロジェクターの画面に投写されている必要があります。Image Express Utility Lite、MultiPresenter アプリケーション の詳しい使用方法は、各アプリケーションのヘルプやユーザーマニュアルをご覧ください。
- 本機能は、1 人用の機能です。既に他のコンピュータで本機能が使用されているとき、同時に使用することはできません。

6-3. PROJECTOR CONTROL

プロジェクターを制御する「PROJECTOR ADJUSTMENTS」画面と、ネットワーク設定を行う「NETWORK SETTINGS」画面の2つがあり、タブで切り替えます。

● PROJECTOR CONTROL を開始する

1 本機とコンピュータをネットワークで接続する。

2 コンピュータでブラウザを起動し、WEB サーバにアクセスする。

- 18 ページの「WEB サーバへのアクセス方法」をご覧ください。
WEB シェアリング画面が表示されます。
- 「PROJECTOR CONTROL」タブをクリックすると、PROJECTOR CONTROL に切り替わります。

● プロジェクターを制御する (PROJECTOR ADJUSTMENTS)

映像や音量の調整、入力端子の切り替えなどが行えます。また、ランプ残量、ランプ使用時間、フィルタ使用時間を確認できます。

● ネットワーク設定を行う (NETWORK SETTINGS)

有線 LAN および無線 LAN の設定は、「7. ネットワーク設定」をご覧ください。

☛ 27 ページ

- アラートメール設定 (ALERT MAIL)
機能説明は☛ 36 ページをご覧ください。
- ネットワークサービス (NETWORK SERVICE)
HTTP サーバへのログインパスワード、PJLink を使用するときのログインパスワード、および AMX BEACON の有効/無効を設定します。
- CRESTRON 設定 (CRESTRON)
機能説明は☛ 37 ページをご覧ください。
- ネットワーク情報 (INFORMATION)
本機に設定されているネットワークの情報を表示します。

7. ネットワーク設定

本機を有線 LAN、無線 LAN に接続するための設定を行います。

7-1. プロジェクター名

本機のプロジェクター名とホスト名を設定します。工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。

項目	説明	備考
プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	英数字 最大 16 文字
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 16 文字

7-2. ネットワーク情報

本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続したときの情報を表示します。

7-3. 有線 LAN

本機を有線 LAN に接続するための設定を行います。

項目	説明	備考
プロファイル	本機を有線 LAN に接続するときの設定を 2 とおり（プロファイル 1 とプロファイル 2 に）登録できます。	
DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / 自動 DNS	必要な設定を行います。	
再接続	ネットワークの接続を試みます。設定を変更したときに実行してください。	



注意

- DHCP 設定時に LAN ケーブルの抜き差しなどで IP アドレスを取得できなかった場合は、一旦本機の電源を切って再度電源を入れなおしてください。

7-4. 無線 LAN

本機を無線 LAN に接続するための設定を行います。

項目	説明	備考
プロファイル	<p>無線 LAN で接続するときの設定名を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 本機に接続している無線 LAN ユニットから電波を出しません。 インテリジェントコネクション 本機に MultiPresenter アプリケーションを使って接続するとき、PIN コード（4桁の数字）入力による接続を有効にします。 簡易アクセスポイント 本機を簡易アクセスポイントにして、コンピュータやスマートフォンと接続します。 Wi-Fi Direct Wi-Fi Direct に対応した機器と接続します。 Miracast Miracast に対応した機器と接続します。 プロファイル 1 / プロファイル 2 無線 LAN の設定を 2 とおり登録できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は、「無効」が設定されています。 簡易アクセスポイントを設定しているとき、本機の IP アドレスは「192.168.120.1」または「192.168.130.1」になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易アクセスポイントのとき、同時に接続できるのは 20 台までです。通常 10 台程度をおすすめします。 </div>
DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / DNS	プロファイル 1 または プロファイル 2 を選択しているときに設定できます。	
詳細設定	設定項目は、プロファイルの選択肢ごとに異なります。次の表をご参照ください。	
再接続	ネットワークの接続を試みます。設定を変更したときに実行してください。	

● 詳細設定（インテリジェントコネクション）

項目	説明	備考
セキュリティ設定	セキュリティの種類（WPA2-PSK）を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は「無効」が設定されています。 WPA2-PSK のキーは、半角英数記号 8 ～ 63 文字
LAN モード	無線モードを選択します。	工場出荷時は「IEEE802.11b/g/n」が設定されています。
チャンネル	無線チャンネルを選択します。	工場出荷時は「6」が設定されています。

●詳細設定（簡易アクセスポイント）

項目	説明	備考
WPS 設定	WPS プッシュボタン方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 無効 WPS の機能を無効にします。 プッシュボタン WPS プッシュボタン方式を選択します。 APPS メニューに WPS プッシュボタンが表示されます。 	
セキュリティ設定	セキュリティの種類（WPA2-PSK）を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は「無効」が設定されています。 WPA2-PSK のキーは、半角英数記号 8 ～ 63 文字
SSID	SSID を設定します。	半角英数記号 1 ～ 32 文字 工場出荷時は、本機の製造番号が設定されています。
LAN モード	無線モードを選択します。	工場出荷時は「IEEE802.11b/g/n」が設定されています。
チャンネル	無線チャンネルを選択します。	工場出荷時は「6」が設定されています。

プッシュボタン方式のときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューの WPS プッシュボタンを押す。
APPS メニューに WPS のカウントダウンが表示されます。
- 2 カウントダウン中に WPS 対応無線端末（クライアント側）の WPS プッシュボタンを押す。
本機と WPS 対応無線端末（クライアント側）が接続します。

●詳細設定（Wi-Fi Direct）

項目	説明	備考
WPS 設定	WPS プッシュボタンの方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 自動プッシュボタン Wi-Fi Direct 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を省略できます。 プッシュボタン Wi-Fi Direct 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を行います。 	工場出荷時は「自動プッシュボタン」が設定されています。

自動プッシュボタンのときの接続方法

- 1 Wi-Fi Direct 対応無線端末で Wi-Fi Direct 対応デバイスの検索機能を実行する。
- 2 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機と Wi-Fi Direct 対応無線端末が接続します。

プッシュボタンのときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューを表示する。
- 2 Wi-Fi Direct 対応無線端末で Wi-Fi Direct 対応デバイスの検索機能を実行する。
- 3 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機の APPS メニューに接続要求のカウントダウンが表示されます。
- 4 カウントダウン中に受け入れるボタンを押す。
本機と Wi-Fi Direct 対応無線端末が接続します。

●詳細設定（Miracast）

項目	説明	備考
WPS 設定	WPS プッシュボタンの方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 自動プッシュボタン Miracast 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を省略できます。• プッシュボタン Miracast 対応無線端末からの接続要求を受け入れる操作を行います。• PIN コード 本機が表示する PIN コードを Miracast 対応無線端末へ入力して接続します。	工場出荷時は「自動プッシュボタン」が設定されています。
HDCP 設定	HDCP によるコンテンツ保護機能の対応を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• 無効…HDCP 非対応になります• 有効…HDCP に対応します。	工場出荷時は「有効」が設定されています。 本機は HDCP2.2 に対応しています。

自動プッシュボタンのときの接続方法

- 1 Miracast 対応無線端末（送信側）で Miracast 対応デバイス（受信側）の検索機能を実行する。
- 2 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機と Miracast 対応無線端末（送信側）が接続し、Miracast を開始します。

プッシュボタンのときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューを表示する。
- 2 Miracast 対応無線端末（送信側）で Miracast 対応デバイス（受信側）の検索機能を実行する。
- 3 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機の APPS メニューに接続要求のカウントダウンが表示されます。
- 4 カウントダウン中に受け入れるボタンを押す。
本機と Miracast 対応無線端末（送信側）が接続し、Miracast を開始します。

PIN コード方式のときの接続方法

- 1 本機の APPS メニューを表示する。

- 2 Miracast 対応無線端末（送信側）で Miracast 対応デバイス（受信側）の検索機能を実行する。
- 3 検索結果に表示されたプロジェクター名（本機）を選択する。
本機の APPS メニューに PIN コードとカウントダウンが表示されます。
- 4 カウントダウン中に Miracast 対応無線端末（送信側）に PIN コードを入力する。
本機と Miracast 対応無線端末（送信側）が接続し、Miracast を開始します。

●詳細設定（プロフィール 1 / プロファイル 2）

項目	説明	備考
サイトサーベイ	<ul style="list-style-type: none"> • サイトサーベイを実行し、検出したアクセスポイントを表示します。 • 最大 64 のアクセスポイントを表示します。 • SSID が同名のアクセスポイントは 1 つだけ表示されます。 • 対象のアクセスポイントは、セキュリティが無効、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-EAP、WPA2-EAP です。 • アクセスポイントのセキュリティが有効のとき「鍵」マークが付きます。 	<p>本機に無線 LAN ユニットを接続していない場合は選択できません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>注意</p> <p>アクセスポイントが検出されない場合は、無線 LAN 画面で「再接続」ボタンを選択したあとに、あらかじめサイトサーベイを選択してください。</p> </div>
セキュリティ設定	<p>セキュリティの種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 セキュリティを無効にします。 • WPA2-PSK キーの入力欄が表示されます。 • WPA/WPA2-PSK キーの入力欄が表示されます。 • WPA2-EAP 認証設定の項目が表示されます。 • WPA/WPA2-EAP 認証設定の項目が表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 工場出荷時は「無効」が設定されています。
SSID	SSID を設定します。	<p>半角英数記号 1 ~ 32 文字 工場出荷時は「NECPJ」が設定されています。</p>

「認証設定」（WPA2-EAP または WPA/WPA2-EAP を使用する場合）

設定前の準備

無線 LAN に対応した WPA2-EAP 認証を選択し、電子証明書の本機にインストールします。

- 1 本機の「日付と時刻設定（タイムゾーン設定を含む）」設定を行う。（📍 41 ページ）
- 2 コンピュータを使って、WPA2-EAP の設定に必要な電子証明書（ファイル）を USB メモリに保存する。
必要なファイルを保存したら、コンピュータから USB メモリを取り外してください。



- 本機にインストールできる電子証明書のファイル形式は、DER 形式と PKCS#12 形式です。
- ファイルサイズが 8 キロバイトを超える電子証明書は、本機で使用できません。
- 本機が対応するクライアント証明書のファイル拡張子は「.pfx」と「.p12」、ルート証明書のファイル拡張子は「.cer」と「.der」です。

- 3 電子証明書を保存した USB メモリを、本機の接続端子部にある USB ポートに差し込む。

設定方法

- 1 「セキュリティ設定」画面の「セキュリティの種類」で「WPA2-EAP」または「WPA/WPA2-EAP」を選択する。
- 2 「認証設定」にフォーカスを合わせて、(決定)ボタンを押す。
EAP タイプは、「EAP-TLS」または「PEAP-MSCHAPV2」を選択でき、EAP タイプによって設定項目が異なります。次の表を参照してください。

EAP タイプ	設定する項目	設定する内容
EAP-TLS	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	クライアント証明書	PKCS#12 形式のファイル
	ルート証明書	DER 形式のファイル
PEAP-MSCHAPV2	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	パスワード	1 文字以上、32 文字以下
	ルート証明書	DER 形式のファイル

EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合は、 このページの手順 **3**へ

EAP タイプで「PEAP-MSCHAPV2」を選択する場合は、 **33 ページ**の手順 **3**へ

① EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合

ここからは「EAP-TLS」を選択する場合の操作です。

- 3 [ユーザー名] 欄にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。
・ ユーザー名は、1 文字以上、32 文字以下で入力してください。
- 4 ユーザー名を設定したら、[クライアント証明書] にフォーカスを合わせ、(決定)ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます
・ 認証設定に戻る場合は、(戻る)ボタンを押します。



電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに 1 ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 5 ファイル画面内の電子証明書 (PKCS#12 形式のファイル) にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
パスワード画面が表示されます。
- 6 パスワード入力欄にフォーカスが合っていることを確認し、**(決定)**ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、秘密鍵のパスワードを入力してください。
パスワードは、1文字以上、32文字以下で入力してください。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。
・手順**5**で選択したファイルにルート認証局証明書が含まれていない場合は、手順**7**に進みます。
ルート認証局証明書が含まれている場合は、手順**9**に進みます。
- 7 [ルート証明書] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます。
- 8 ファイル画面内の電子証明書 (DER 形式のファイル) にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
・ここではルート認証局証明書を選択してください。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。
- 9 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
セキュリティページに戻ります。
- 10 [確定] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
詳細設定に戻ります。

これで WPA-EAP, WPA2-EAP の EAP タイプ「EAP-TLS」の設定が終わりました。

参考 ●本機にインストールした電子証明書をクリアする
本機にインストールした電子証明書をクリアするときは、次のように操作します。
表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

- 1 [認証設定] 画面の下にある [証明書のクリア] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 2 [[はい] にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

② EAP タイプで「PEAP-MSCHAPV2」を選択する場合

- 3 [EAP タイプ] 欄にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。
- 4 「PEAP-MSCHAPV2」にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
- 5 [ユーザー名] 欄にフォーカスを合わせ、**(決定)**ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。
・ユーザー名は 32 文字以下で入力してください。

- 6** ユーザー名を設定したら、[パスワード] 欄にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
文字入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
- パスワードは 32 文字以下で入力してください。
 - PEAP-MSCHAPV2 では、証明書を使用する／使用しないを選択できます。証明書を使用する場合は、[証明書] を [使う] にしてください。証明書を使用しない場合は、[証明書] を [使わない] にしてください。
- 7** パスワードを設定したら、[ルート証明書] にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
ファイル画面が表示されます。
- 認証設定に戻る場合は、**(戻る)** ボタンを押します。



電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに 1 ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA2-EAP、WPA/WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 8** ファイル画面内の電子証明書（DER 形式のファイル）にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。
- 9** 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティページに戻ります。
- 10** [確定] にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
詳細設定に戻ります。

これで WPA2-EAP の EAP タイプ「PEAP-MSCHAPV2」の設定が終わりました。



●本機にインストールした電子証明書をクリアする

本機にインストールした電子証明書をクリアするとき、次のように操作します。
表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

- 1** [詳細設定] 画面の下にある [証明書のクリア] にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 2** [はい] にフォーカスを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

7-5. MultiPresenter

APPS メニューの MultiPresenter を使用する際の設定を行います。

モードについて

- フリーモードは、コンピュータやスマートフォンなどにインストールした MultiPresenter アプリケーションから本機に自由に接続できるモードです。
画面の分割パターンは、接続している端末の台数に応じて変わります。また、端末側から分割表示と全画面表示を選択することができます。
- 管理モードは、フリーモードと同様に複数台の端末を本機に接続中に、分割表示から全画面表示に切り替えたりもとに戻す操作を、本機の”WEB サーバ”を使用して行うモードです。

項目	説明	備考
モード	動作モードを選択します。 フリー…… フリーモードを設定します。 管理……… 管理モードを設定します。	工場出荷時は「フリー」が設定されています。
HTTP パスワード	WEB サーバ機能で MultiPresenter の制御画面にログインするためのパスワードを設定することができます。	最大 32 文字までの英数字。 空白に設定すると、パスワードは「なし」となります。 初期値：空白。
PIN の種類	<ul style="list-style-type: none">・ ワンタイム 4 桁の PIN コードを自動で生成します。PIN コードはプロジェクターの電源を入れたときに生成され、電源を切るまで保持されます。・ 固定 任意の 4 桁の PIN コードを設定します。	<ul style="list-style-type: none">・ 工場出荷時は「ワンタイム」が設定されています。
PIN コード	「PIN の種類」で「固定」を選択したときに任意の PIN コードを設定します。	<ul style="list-style-type: none">・ 入力可能な文字は数字のみ、4 桁です。
PIN コードを接続パスワードとして使用する	MultiPresenter アプリケーションを本機に接続するときに PIN コードをパスワードとして使用する / 使用しないを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ チェックなし PIN コードをパスワードとして使用しません。・ チェックあり PIN コードをパスワードとして使用します。	<ul style="list-style-type: none">・ 工場出荷時は「チェックなし」に設定されています。



- MultiPresenter を使用中に動作モードの設定を変更した場合、即時には反映されません。
MultiPresenter が未使用になったときに、動作モードの変更が反映されます。

7-6. ネットワークサービス

● AMX 設定

本機を AMX 社の NetLinX コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。工場出荷時は、チェックマークが付いていません。

AMX Device Discovery については、AMX 社のホームページをご覧ください。

● HTTP サーバ設定

PROJECTOR CONTROL 画面にログインするためのパスワードを設定します。パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。

● PJLink 設定

PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合のログインパスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。

● アラートメール設定

本機をネットワークに接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を電子メールでコンピュータなどへ通知します。

項目	説明	
メール通知	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <p>チェックマークを付ける…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p>チェックマークを外す……メール通知機能は停止します。</p> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <table border="1"><tr><td>冷却ファンの回転が停止しています。 [情報] プロジェクター名：PJ-xxxxxxx ライト使用時間：xxxx[H]</td></tr></table>	冷却ファンの回転が停止しています。 [情報] プロジェクター名：PJ-xxxxxxx ライト使用時間：xxxx[H]
冷却ファンの回転が停止しています。 [情報] プロジェクター名：PJ-xxxxxxx ライト使用時間：xxxx[H]		
差出人アドレス	本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 電子メールの「from」にあたるアドレスです。	
SMTP サーバ名	本機が接続する SMTP サーバを設定します。	
宛先アドレス 1/2/3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。 電子メールの「to」にあたるアドレスです。	
送信テスト	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 <ul style="list-style-type: none">送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。	

● CRESTRON 設定

本機をクレストロン製品に接続する場合に設定します。

項目	説明	備考
ROOMVIEW	コンピュータで制御する場合にチェックマークを付けます。	
CRESTRON CONTROL	コントローラで制御する場合にチェックマークを付けます。	
IP アドレス	コントローラの IP アドレスを設定します。	
IP ID	コントローラの IP ID を設定します。	

8. ツール

8-1. マウス設定

市販の USB マウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。このときのマウスの設定です。

項目	説明	備考
マウス	チェックマークを付けると、次回起動時から本機に接続したマウスが使用可能になります。	
ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。	
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。	

8-2. プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／スタンバイや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時3分にコンピュータの画面に切り替わり、17時30分に電源がスタンバイ状態になります。



重要

- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付と時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください (41 ページ)。
また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。
- プログラムタイマーを使用するときは、「スタンバイモード」を「ネットワークスタンバイ」に設定してください。

●プログラムを新しく設定する

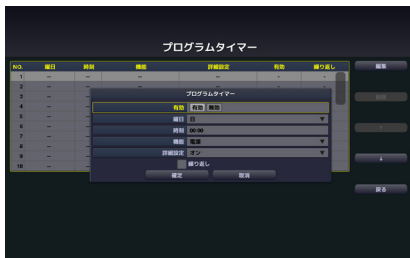
- 1 プログラムタイマーのトップ画面で (▼/▲) ボタンを押して [編集] にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

プログラムリスト画面が表示されます。



- 2 予定が入っていない番号にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。

有効	プログラムの有効/無効を選択します。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン/オフ、「入力端子」を選択すると [詳細設定] で映像信号、「エコ」を選択すると [詳細設定] でエコモードを選べるようになります。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン/オフ、映像信号の種類、またはエコモードのオフ/オートエコ/エコ1/エコ2を選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

- 4 設定が終わったら「確定」にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

- 5 「戻る」にフォーカスを合わせ、(決定) ボタンを押す。

プログラムタイマーのトップ画面に戻ります。



6 「確定」にフォーカスを合わせ、

決定 ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。

注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [有効] が無効になります。
- 複数のプログラムが同時刻に重なるときは、プログラム番号の小さいプログラムからリスト順に実行されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [有効] が無効になっているプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

●プログラムタイマーを有効にする

1 プログラムタイマーのトップ画面で [プログラムタイマー] の [有効] にフォーカスを合わせて、**決定** ボタンを押す。

チェックマークが付きます。



注意

- プログラムタイマーの有効設定にチェックマークが付いていないときは、プログラムリストの [有効] の項目が有効でもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーの有効設定にチェックマークが付いていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

●プログラムを編集する

1 プログラムリスト画面で編集したい番号にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。




2 編集画面で設定を変更する。

3 設定が終わったら「確定」にフォーカスを合わせ、**決定** ボタンを押す。





これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

●プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻になるとプログラム番号の小さいプログラムからリスト順に実行されます。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にフォーカスを合わせ、
 ボタンを押す。
- 2  ボタンを押して「↑」または「↓」を選択する。
- 3 希望の位置まで移動するまで  ボタンを数回押す。
これでプログラムの順番が変更されます。

●プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にフォーカスを合わせ、 ボタンを押す。
- 2  ボタンを押して「削除」にフォーカスを合わせ、 ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 3 「削除」にフォーカスを合わせ、 ボタンを押す。
削除されプログラムリスト画面に戻ります。

8-3. 日付と時刻設定

本機に現在の日付と時刻を設定します。

項目	説明	備考
タイムゾーン設定	本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) との時差を設定します。	初期値は「+ 00:00」です。日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定してください。
日付と時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。 ネットワーク上の NTP サーバと同期して、正しい時刻を取得するときは「インターネット時刻サーバ」にチェックマークを付けます。そして NTP サーバの IP アドレス、またはホスト名を入力し、(更新) を行います。	日付の初期値は「01/01/2015」(木)です。時刻の初期値は「00:00」です。
夏時間設定	夏時間を設定します。 有効にチェックマークを付けると、夏時間を有効にします。 夏時間の開始と終了、および時差の各項目を設定します。	



- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時にスタンバイ状態にしておいてください。
本機の電源コードを外したあと、そのまま約 2 週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付と時刻設定」を再度行ってください。



- 夏時間の移行動作時に日付と時刻設定を再設定すると、正常に夏時間設定が切り替わらない場合があります。再設定が必要なときは、「タイムゾーン」→「日付と時刻設定」→「夏時間設定」の順に設定しなおしてください。

8-4. 管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。

項目	説明	備考
メニューモード	ベーシックメニューとアドバンスドメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目はプロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください。	
設定値を保存しない	オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。	工場出荷時は、チェックマークが付いていません。
新規パスワード／ 新規パスワード確認	管理者モードにパスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字

8-5. デフォルト APP

プロジェクターの電源を入れたときに「APPS」端子が選択されていると、デフォルト APP で設定した機能が自動的に起動します。

また、「APPS」端子以外が選択されていると、「APPS」端子に切り替えたときにデフォルト APP で選択した機能が自動的に起動します。

項目	説明	備考
デフォルト APP	リモコンの (APPS) ボタン、または入力端子で「APPS」を選択したときに表示する機能を、APPS メニューまたはビューワから選択します。	工場出荷時は「APPS メニュー」が設定されています。

●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、MultiPresenter は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- ・ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ PJLink 及び PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- ・ Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access®, WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct®, Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Android、Google Play、Chrome は、Google Inc. の登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。